

【全国納税貯蓄組合連合会優秀賞】

当たり前前に感謝を

諸塚村立諸塚中学校

三年 綾 こはる

「税金がなくなったら」と考えたことはあるだろうか。私が税金に興味を持つようになったきっかけは、一本の動画だった。それは税金がなくなった日本を漫画風に紹介していた動画だった。私はその動画を見て、衝撃を受けた。税金がなくなってしまうと、医療費や教育費が高額になり、すべての人が平等に十分な医療、教育を受けられない。警察は、費用が発生して呼ぼうにも呼べない。道路や橋が壊れていても、修理されない。そんな世界になってしまう。私はこの一本の動画を見て、普段私たちが払っている税金は、こんなにも必要な存在だったということに気がついた。

昨年九月に台風十四号が私の住んでいる村を襲った。今までに体験したこともない、強い雨と強風は、私を不安な気持ちにさせ、眠れない夜を過ごした。台風が残っていた爪痕はとても大きなものだった。電気やガスは止まり、生活もままならない。道路や崖が崩れ落ちて、通行することができない道路もあった。特に、大きなお店がない私の村は、道路が十分に通れない状況だと、市街に買い出しに行くことができなくて、困っている人もいた。自分の愛する故郷が、悲惨な光景へと変わっていることにショックを受けた。それから間もなく、復旧作業が始まった。あちこちで工事が行われ、村は少しずつ復旧していった。まだ少し爪痕は残っているものの、私の村は半年ほどで元の姿へと戻り、道路は綺麗に舗装され、交通可能な状態になった。私の村は「税金」というものがなければ、こんなに早く元通りになることもなかったと思う。この出来事は、私たちの生活は税金によって支えられているのだと、強く実感させてくれた。

十分な医療、教育が受けられる、事件や事故が起きてもすばやく対処してくれる、綺麗に舗装された道路を走れる。私が今まで当たり前だと思っていたものは、すべて「税金」というものが支えてくれていた。私の村が台風の被害から復旧したように、税金は国民の安全な暮らしを守ったり、夢や希望を持たせてくれたりと、いろんな面で私たちを支えてくれている。これからはこのような幸せな生活を送れていることを当たり前だと思わず、日々感謝して過ごしていきたい。